施工完了チェックシート

確認日	年　月　日
確認者	

1□から6□を チェック

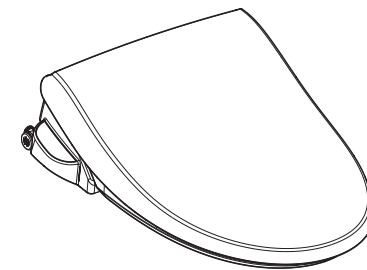
◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1□ クイックファスナーを正しく取り付けていますか

●クイックファスナーが確実に固定されていること。
●給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
●給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。
再度、取り付け手順に従ってください。

5□ ひとセンサーを正しく取り付けていますか

●トイレの扉を開けたらすぐに検知する位置に取り付けてください。
●直射日光や他の機器の熱の影響を受けやすい場所への取り付けは避けてください。
●夏場、トイレ内室温が約30 ℃を超える場合は、ひとセンサーが正常に働かない場合があります。
●ひとセンサーやリモコンは赤外線で信号を送信しています。天井との間に棚などの障害物がないか確認してください。

2□ 止水栓を開けていますか

●水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
●十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

6□ 着座センサーは正常に働きますか

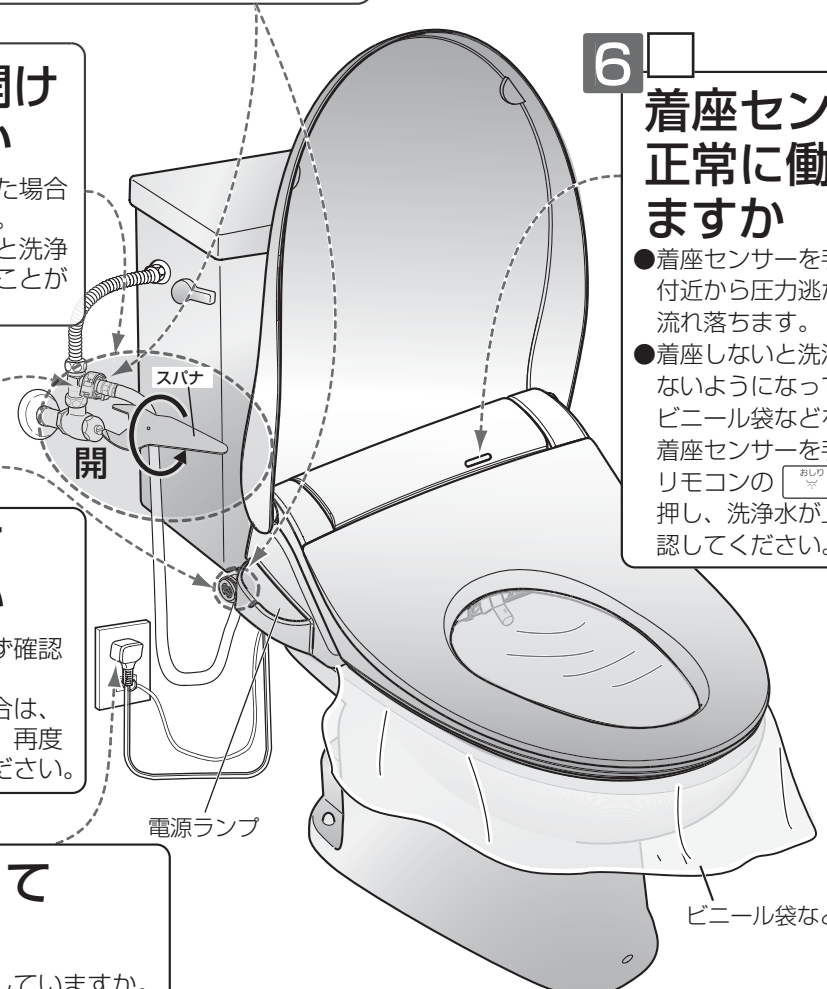
●着座センサーを手で覆うとノズル付近から圧力逃がし水が便器に流れ落ちます。
●着座しないと洗浄水が上向きに出ないようになっています。
ビニール袋などを便器にはさみ、着座センサーを手で覆ったまま、リモコンの［おしり］または［ビデ］を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

3□ 水漏れしていませんか

●水漏れがないか必ず確認してください。
●水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

4□ 電源は入っていますか

●電源ランプは点灯していますか。

配管方法などはイラストと異なる場合があります。

 ●試運転は、必ず行ってください。（18ページ）

お知らせ ●洗浄中は、ノズルの左から水が流れ出ますが、圧力逃がし水ですので故障ではありません。

パナソニック株式会社　トワレ・ヒーティングビジネスユニット

〒525-8555　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

DL949A-C3CP1
CS0310-1110

Panasonic®

設置工事説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番 DL-WD60
DL-WD50
DL-WD40
DL-WD20

安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。
工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。
●イラストは、品番により異なる場合があります。

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。
panasonic.jp/toilet/

19491-13032

ページ

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

D種接地工事を行う
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

電気工事は、内線規程に従って施工する
内線規程に従わないと、火災、感電の原因となります。

定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。

コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因となります。

バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因となります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。

上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障の原因となります。

⚠注意

水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因となります。

移動や設置時、本体を持つ
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

設置の前に

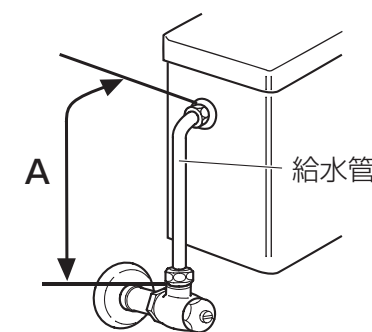
お願い
- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから設置する。
- **必ず同梱の分岐金具をご使用ください。**

お知らせ
- **この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、故障ではありません。**
- 使用水圧範囲は49～735 kPa、{0.5～7.5 kgf/cm^2} です。
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。

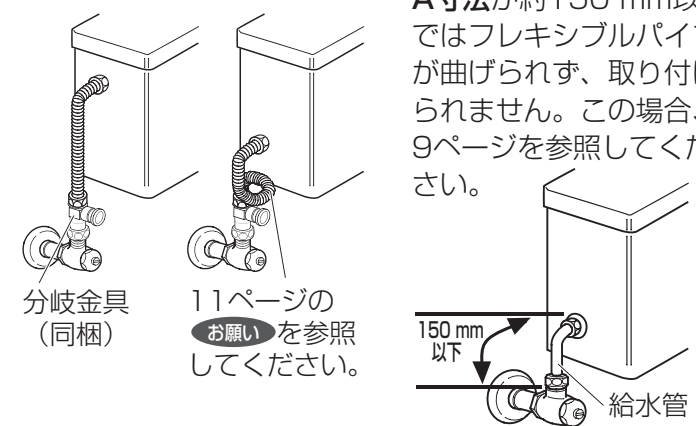
DL-WD60/50/40のみ
- アクアコート使用水圧範囲は68～735 kPa {0.7～7.5 kgf/cm^2} です。
- 設置時の給水直後のみ、アクアコートより水が飛び散る場合があります。

■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。
フレキシブルパイプは切断しないでください。
右図の**A寸法**が、約150～330 mmの場合は、取り付けできます。
上記以外で②③の場合は、**部材購入**が必要です。

同梱のフレキシブルパイプ（給水管）

①A寸法が約150～330 mmの場合の設置例

②給水管が短い場合または外れない場合
A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。

③A寸法が約150～330 mm以外の場合
別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

	フレキシブルパイプの長さ	品番	本体希望小売価格
別売品	250 mm	☆AD-HS25B	630円（税抜600円）
	350 mm	☆AD-HS35B	756円（税抜720円）
	400 mm	☆AD-HS40B	809円（税抜770円）
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。	

☆は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。
価格は2010年5月現在の希望小売価格です。
価格・品番は変更される場合があります。

■リモコン、ひとセンサー取付位置の確認

リモコン、ひとセンサーを取り付ける位置は、15～16ページを参照してください。

■ご準備いただくもの

メジャー

プラスドライバー

モンキーレンチ

バケツ・ぞうきん

準備

各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。

①分岐金具セット

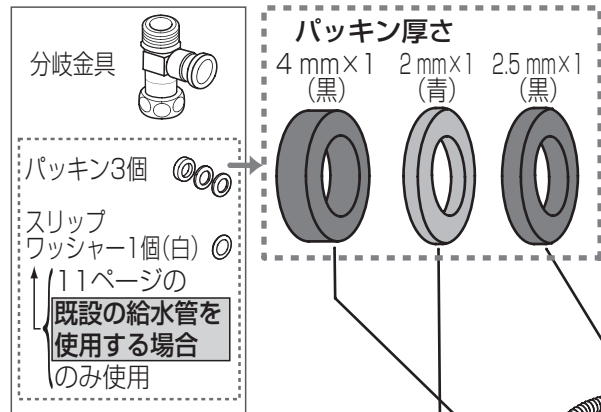
分岐金具

パッキン厚さ
4 mm×1（黒）　2 mm×1（青）　2.5 mm×1（黒）

パッキン3個

スリップワッシャー1個(白)

（11ページの **既設の給水管を使用する場合** のみ使用）

11ページの

お知らせ

同梱の分岐金具は、従来分岐水栓と記載していましたが、止水機能がないため、分岐金具と名称を変更しております。

② フレキシブルパイプ(給水管)（長さ:300 mm）

ロータンク

便ふた

ECO NAVIランプ（エコナビ）

便座あたためランプ

本体

着座センサー

アース線（本体背面）

暖房便座

分岐金具

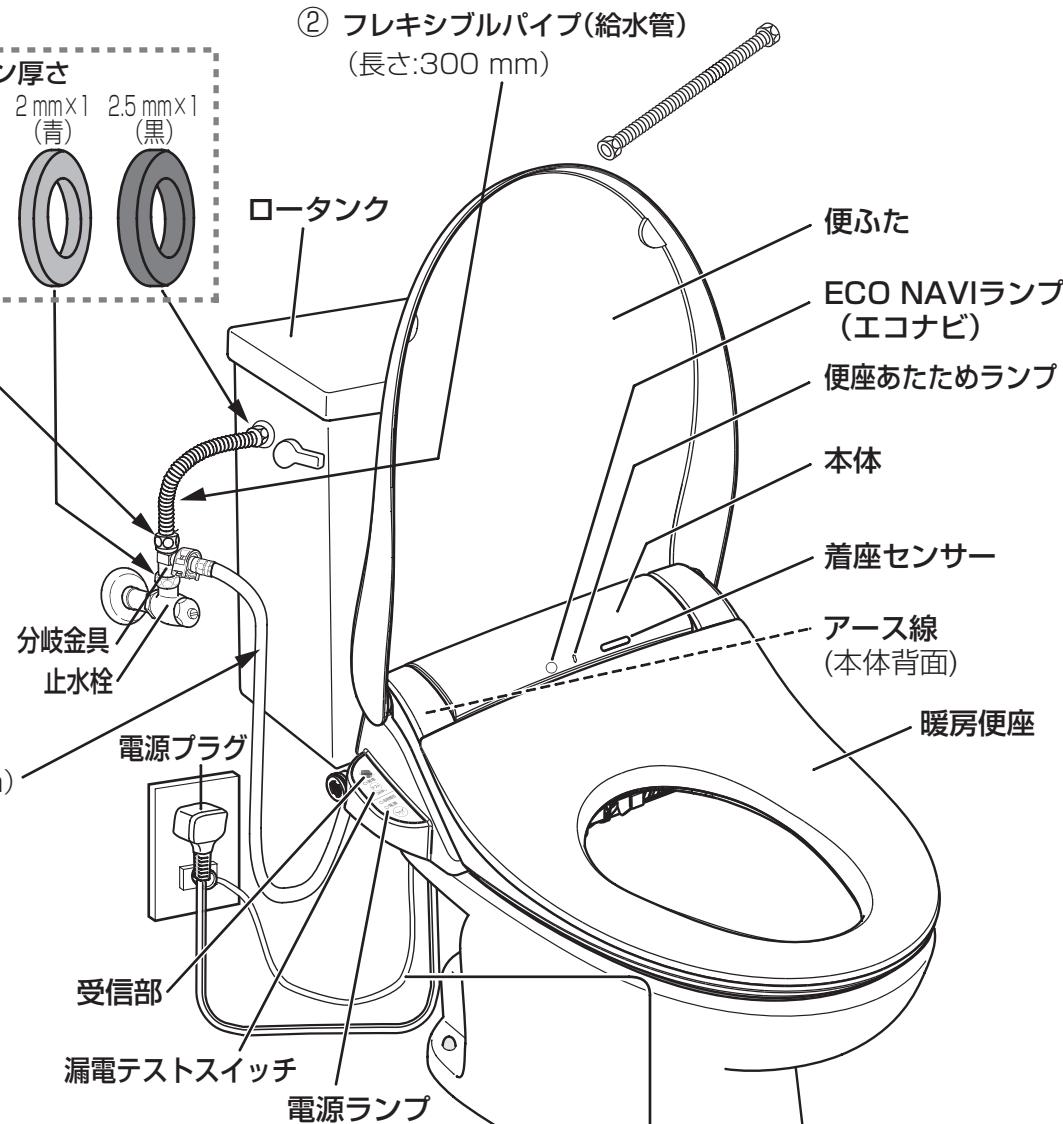
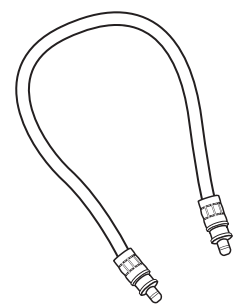
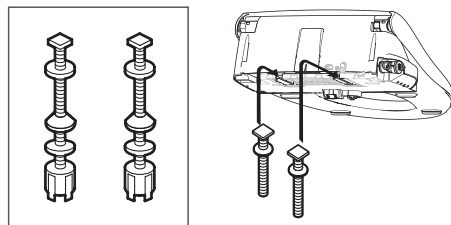
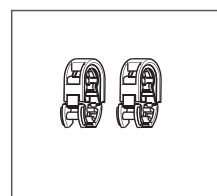
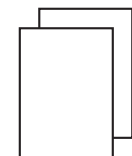
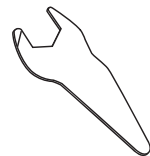
止水栓

電源プラグ

③ 給水ホース（長さ:950 mm）

受信部

漏電テストスイッチ

電源ランプ

④取付ボルトセット

⑤ クイックファスナー

⑥ 説明書セット（取扱説明書・設置工事説明書）

⑦ スパナ

⑧アース線

⑩ ご使用ガイド

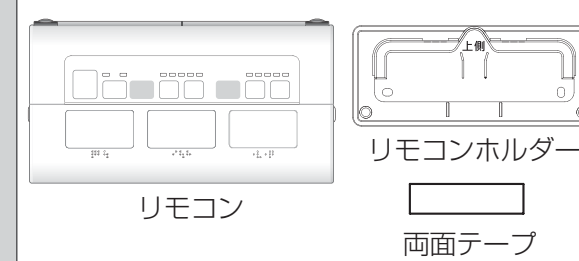
⑨ クッション（DL-WD60/50/40のみ）

お知らせ

- 操作音について
  各スイッチを押すと、本体より操作音が「ピッ」と鳴ります。ただし、停止スイッチ、各スイッチの「切」設定時の操作音は「ピー」、操作を受け付けないときは「ピピピ」と鳴ります。

〈リモコン用〉

⑪リモコンセット

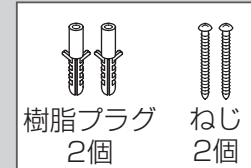
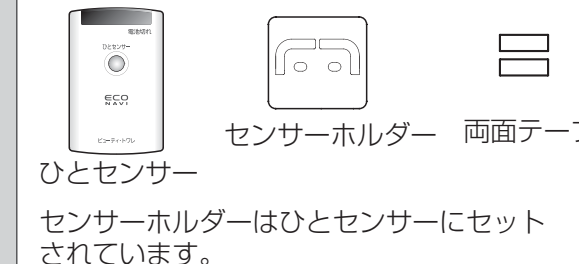
リモコン　リモコンホルダー　両面テープ

リモコンホルダーはリモコンにセットされています。

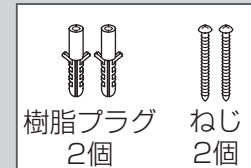
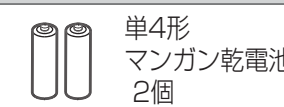
⑫取付ねじセット
樹脂プラグ 2個　ねじ 2個

⑬乾電池セット
単3形 アルカリ乾電池 2個

〈ひとセンサー用〉

⑭ひとセンサーセット

ひとセンサー　センサーホルダー　両面テープ

センサーホルダーはひとセンサーにセットされています。

⑮取付ねじセット
樹脂プラグ 2個　ねじ 2個

⑯乾電池セット
単4形 マンガン乾電池 2個

⑫⑮の取付ねじセットは共用です。

⚠警告

同梱のパッキンを使用する

他のパッキンを使用されますと接続部が破損するおそれがあります。

【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 ☑チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	分岐金具セット（分岐金具 / パッキン 薄い黒2.5 mm厚さ×1 / パッキン 青2 mm厚さ×1 / パッキン 厚い黒4 mm厚さ×1 / スリップワッシャー（白）×1）	1	□
②	フレキシブルパイプ（給水管）	1	□
③	給水ホース	1	□
④	取付ボルトセット	1	□
⑤	クイックファスナー	2	□
⑥	説明書セット（取扱説明書 / 設置工事説明書）	1	□
⑦	スパナ	1	□
⑧	アース線（本体接続済み）	1	□
⑨	クッション(DL-WD60/50/40のみ)	1	□
⑩	ご使用ガイド	1	□
リモコン用 ⑪	リモコンセット（リモコン / リモコンホルダー / 両面テープ）	1	□
リモコン用 ⑫	取付ねじセット	1	□
リモコン用 ⑬	乾電池セット(単3形アルカリ乾電池)	1	□
ひとセンサー用 ⑭	ひとセンサーセット（ひとセンサー / センサーホルダー / 両面テープ）	1	□
ひとセンサー用 ⑮	取付ねじセット	1	□
ひとセンサー用 ⑯	乾電池セット(単4形マンガン乾電池)	1	□

【別売品】（サービスルート扱い）

記号	部品名	部品品番 ※	数量
Ⓐ	別売分岐水栓・キャップセット（9ページ）（分岐水栓 / キャップカバー / キャップA / パッキン大 黒2.5 mm厚さ×1 / 説明書）	ADL531A-B4JS	1

※部品品番は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

別売品のⒶは、配管の状態によって必要な場合があります。販売店でご購入ください。

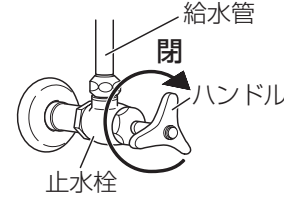
準備

設置工事の流れ

止水栓を閉める
8ページ
止水栓がある場合
※床面に止水栓がある場合もあります。
8ページ
止水栓がない場合
フラッシュバルブの場合
専門業者に依頼する
閉
水道元栓
分岐金具を取り付ける
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合
9ページ
（給水管が短い場合）
9ページ
既設の温水洗浄便座から取り替える場合
（既設の分岐水栓が右図タイプ）
10ページ
●専門業者に依頼する
（既設の分岐金具が右図タイプ）
11ページ
本体を取り付ける
12ページ
下からナット締めができる便器の場合
12ページ
下からナット締めができない便器の場合
13ページ
給水ホースを取り付ける
14ページ
アース線の接続／止水栓を開ける／クッションを取り付ける
15ページ
リモコンを取り付け、電源を入れる
16ページ
ひとセンサーを取り付ける
18ページ
試運転
裏表紙
施工完了チェックシートで確認する
設置

止水栓を閉める

■止水栓がある場合

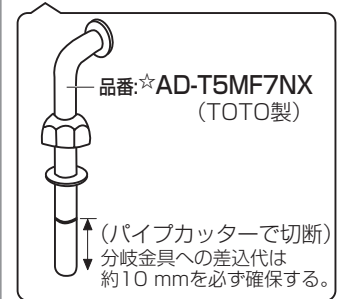
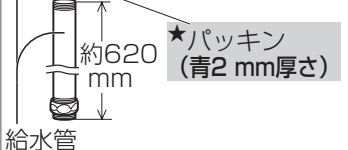
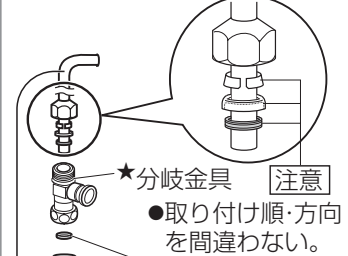
止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流し切ってください。

9～11ページ　分岐金具を取り付ける

■止水栓がない場合 → 設置については専門業者に依頼してください

分岐金具を取り付ける　〈分岐金具の締め付け方〉→9ページ参照

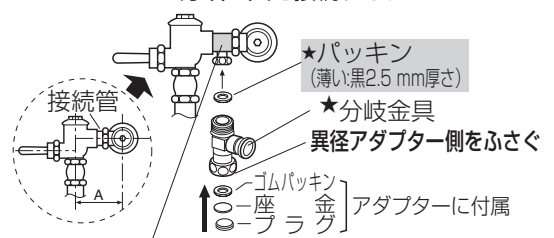
★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。

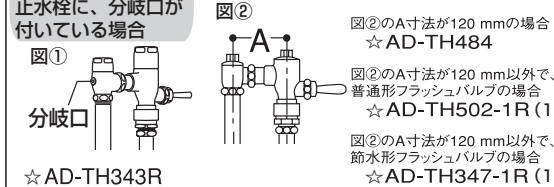
寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

1. 水道の元栓を閉める
2. 給水管に分岐金具を取り付ける

フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

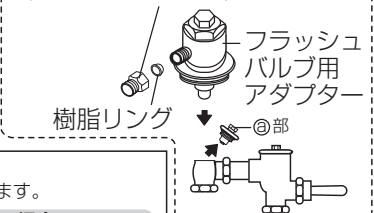
1. 水道の元栓を閉める
2. 分岐金具を取り付ける

●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
●分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
●分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。
1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
2. フラッシュバルブ用アダプター(別売品)を取り付ける。
3. 分岐金具の異径アダプター側をふさぐ。
4. アダプターに分岐金具を接続する。

〈別売品：フラッシュバルブ用アダプター〉
フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合	フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合	
図① 分岐口 ☆AD-TH343R	図② 図②のA寸法が120 mmの場合 ☆AD-TH484 図②のA寸法が120 mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH502-1R (1S) 図②のA寸法が120 mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH347-1R (1S)	図③ 曲がり管 図③のように曲がり管の場合 ☆AD-TH484-1

INAX製の場合

1. 水道の元栓を閉める
2. ⓐ部を外す
3. フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける

65年～78年7月までの普通型
☆AD-K014GWS (INAX製)
78年8月以降の普通型
☆AD-K012GWS (INAX製)
90年6月以降の新型節水用
☆AD-K011GWS (INAX製)

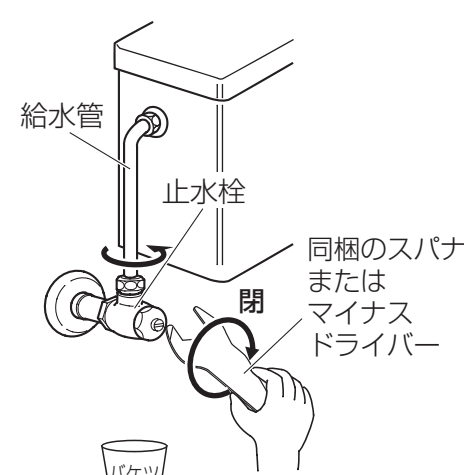
(別売品一式)

◎取付後、水道の元栓を開けてください。

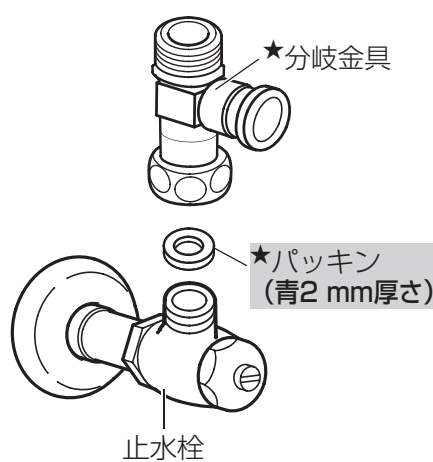
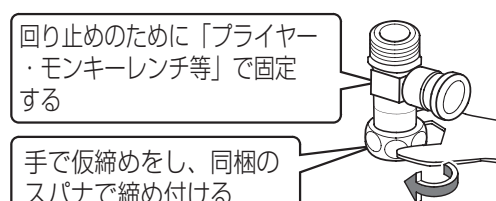
詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ　本体を取り付ける

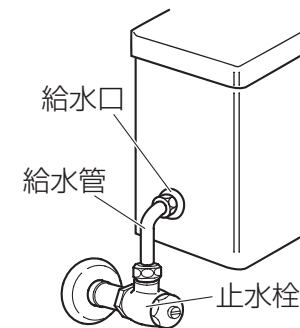
分岐金具を取り付ける 初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

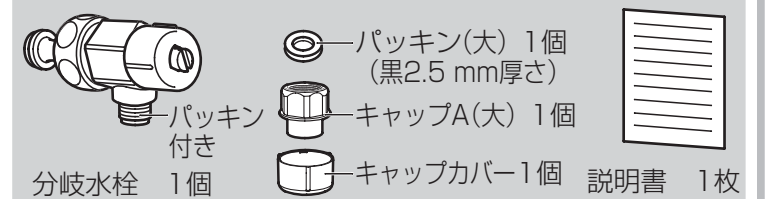
★は、同梱部品です。
㋚は、サービスルート扱い（別売品）です。

1. 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

2. 分岐金具を止水栓に、取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉

11ページ　分岐金具を取り付ける　2 給水管の取り付け

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

下記の別売品を販売店で購入してください。

ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梱の分岐金具とフレキシブルパイプが接続できない場合や、給水管が外れない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

〈別売品Ⓐ〉別売分岐水栓・キャップセット（品番：ADL531A-B4JS）

1. 水道の元栓を閉める
2. 別売品の分岐水栓を取り付ける
3. 本体同梱の分岐金具を取り付ける

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

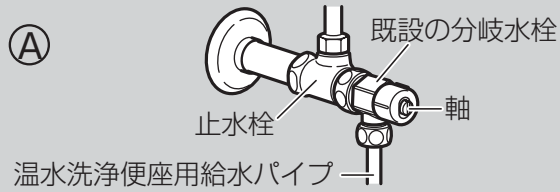
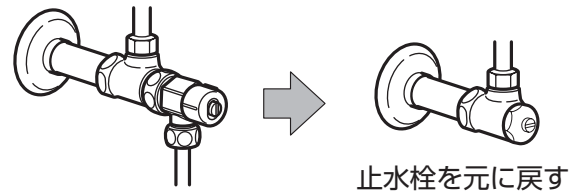
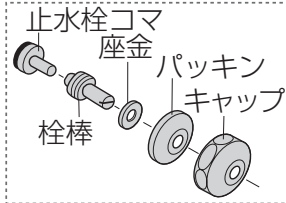
12ページ　本体を取り付ける

設置

分岐金具を取り付ける

既設の温水洗浄便座　から取り替える場合

★は、同梱部品です。

既設の分岐水栓が右図のタイプ Ⓐ

止水栓を元に戻す必要があります（専門業者に依頼してください）

下記の部品が必要です

❶ 水道の元栓を閉める

- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

❷ 給水パイプを外す

❸ 既設の分岐水栓を止水栓から外す

- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❹ 止水栓を元にもどす

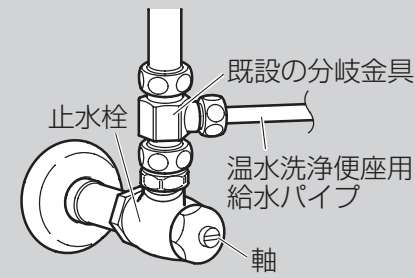
❺ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

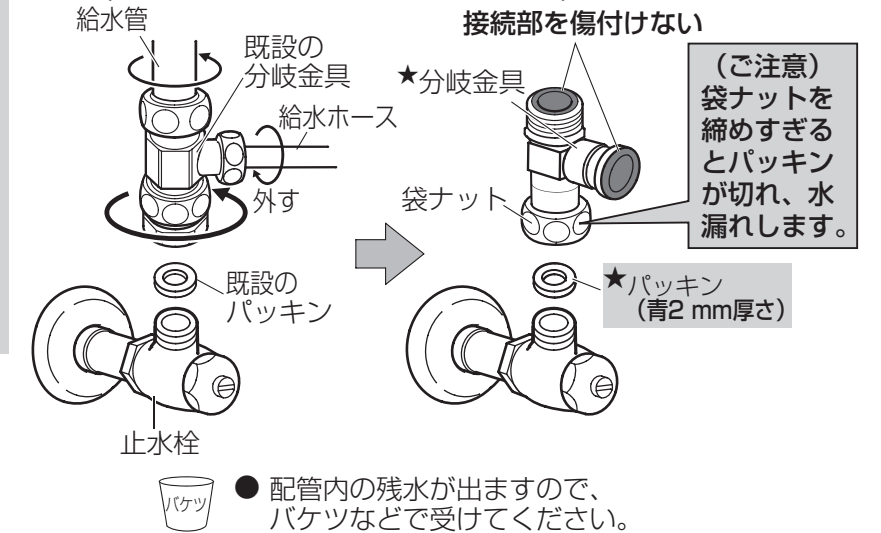
- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❻ 分岐金具を止水栓に、取り付ける

〔〈分岐金具の締め付け方〉→9ページ参照〕

11ページ　分岐金具を取り付ける　❷ 給水管の取り付け

既設の分岐金具が下図のタイプⒷ

❶ 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する

〔〈分岐金具の締め付け方〉→9ページ参照〕

- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ 給水管の取り付け

●既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。

同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

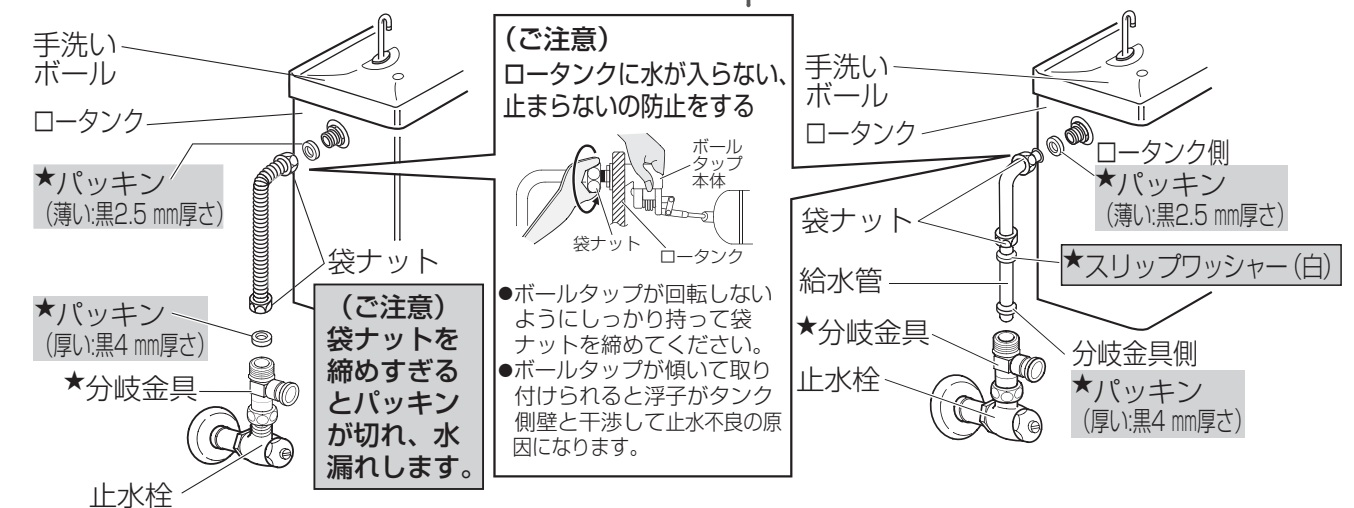
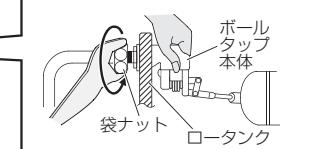
同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

口径：G1/2

お願い

フレキシブルパイプは
- **曲げ過ぎない**
- **何度も曲げ直さない（折れることがあります）**
- **切断しない**
- **長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。**

既設の給水管を使用する場合

- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- 分岐金具への差込代は約10 mmを必ず確保する。

給水管

パイプカッター

12ページ　本体を取り付ける

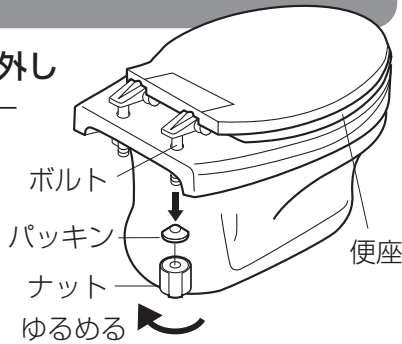
設置

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

❶ 既設便座の取り外し

1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。

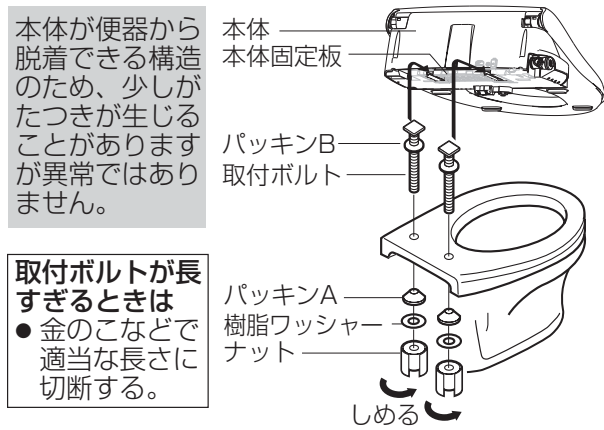
ボルト
パッキン
ナット
ゆるめる
便座

（ナットがさびてゆるまないときは）
- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のこでボルトを切断する。

❷ 本体の取り付け（同梱の取付ボルトセット使用）

1. 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンAを外す。
2. 取付ボルトの頭を本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。
3. パッキンBを上に動かして、本体固定板と取付ボルトを仮固定する。
4. 本体を便器に取り付け、取付ボルトにパッキンA・樹脂ワッシャーの順で取り付けた後、ナットを手でしっかり締め付ける。

外す

（お願い）工具でナットを締め付けないでください。

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

取付ボルトが長すぎるときは
- 金のこなどで適当な長さに切断する。

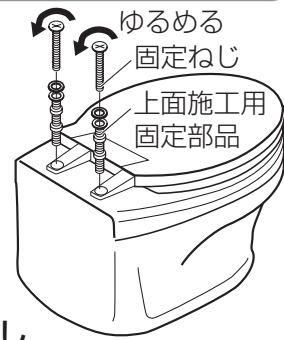
■便ふたの後部がロータンクにすれるまたは強く当たる場合
⇒すれない程度に少し前に引き出して取り付ける。
■便器によって便座が倒れやすい場合
⇒倒れない程度に少し前に引き出して取り付ける。

本体裏面のノズル収納部が便器に乗り上げないように注意する。

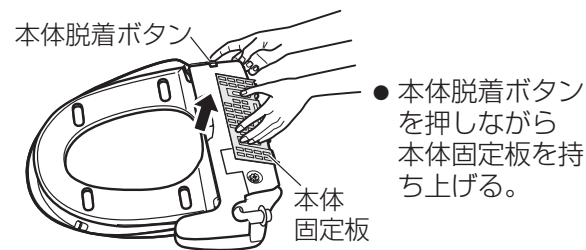
便ふたの後部
ノズル収納部
少し前に引き出して取り付ける

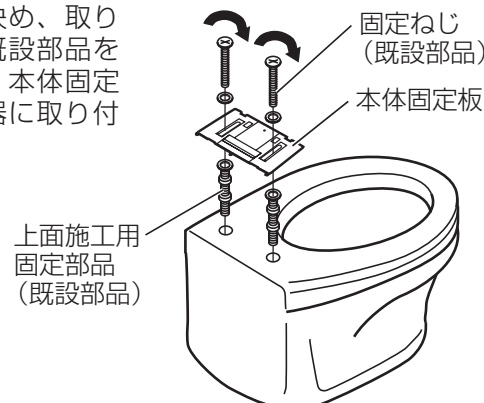
下からナット締めができない便器の場合

❶ 既設便座の取り外し

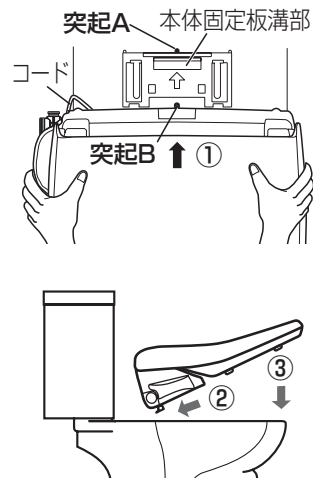
固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
- 取り外した部品は、取り付け時に使用します。

❷ 本体固定板の取り外し

本体裏面より本体固定板を取り外す。

- 本体脱着ボタンを押しながら本体固定板を持ち上げる。

❸ 本体固定板の取り付け（既設の部品を使用）

位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に取り付ける。

❹ 本体の取り付け

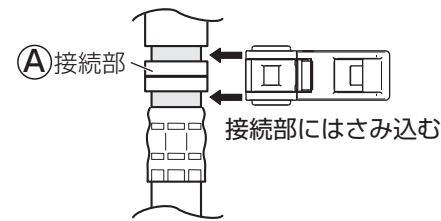
①右図のように突起Aに突起Bを合わせる。
②手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③「カチッ」と音がするまで上から押す。
- コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。

本体を便器に設置後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

給水ホースを取り付ける

❶ 分岐金具への接続

1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、分岐金具の接続口に**まっすぐ**差し込む。

（ご注意）給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

2. クイックファスナーを給水ホースと分岐金具接続部に確実に奥まで差し込む。（「パチッ」と音がします）

3. フックを確実に固定する
❶フック穴側を折り曲げる
❷フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する（「パチッ」と音がします）

4. 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。
※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

悪い接続例
※フックが確実に固定されていないとクイックファスナーが外れ、重大な水漏れの原因となります。
フックが固定されていない

お願い
- フックが閉じないときは、Ⓐ接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

ご注意
- 給水ホースは切断しない
- 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

❷ 本体への接続（分岐金具への接続と同様）

1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口に**まっすぐ**差し込む。
2. クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。（「パチッ」と音がします）
3. フックを確実に固定する
❶フック穴側を折り曲げる
❷フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する（「パチッ」と音がします）
4. 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。
※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

お知らせ
給水ホースが短い場合は、**別売品**を販売店でご購入してください。
1300 mm用　AD-DQPGW13
2500 mm用　AD-DQPGW25

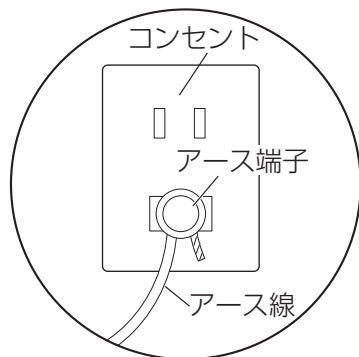
❸ 必ず確認

- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、分岐金具接続口や本体接続口から抜けないことを確認してください。

取付

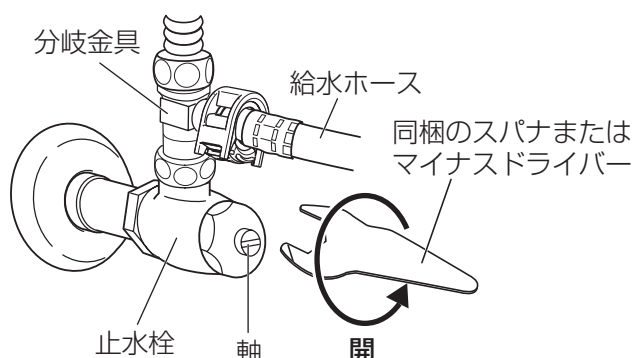
アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

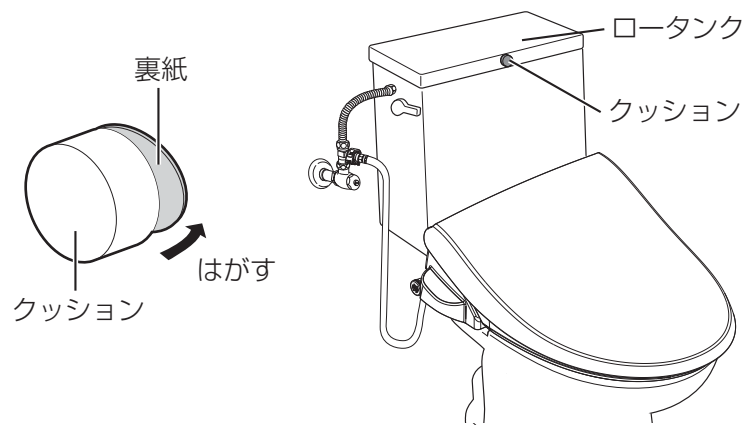
（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）

上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

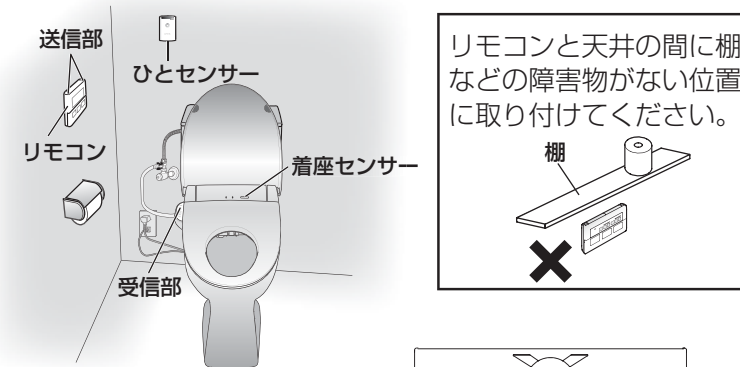
各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

クッションを取り付ける（DL-WD60/50/40のみ）

便ふたがロータンクに強く当たる場合は付属のクッションを右図を参考に貼り付けてください。

- 貼る前に、汚れ、水分などをふき取ってから貼り付けてください。

リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。

リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。

❶ リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

裏面

❷ 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

①電源プラグを差し込む
- 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する

②リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す
- 本体の電源ランプが1回点滅と同時に本体より「ピピピ」と鳴る（ただし、着座センサーが検知している場合は「ピッ」と鳴ります）

↓

送受信可能な位置です。

◆ 電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

電源ランプ　8時間切　電源

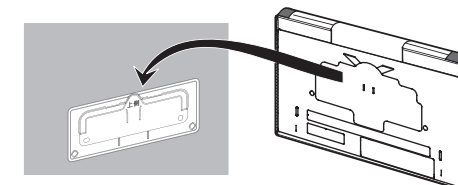
送信部（黒い部分）

❸ リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

①リモコンからホルダーを外す
- ホルダー上を指で押さえながら下方向にずらして外す

②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材（タイル）
● 各種合板 ● ビニールクロスなど	● タイル ● 石こうボード ● コンクリートなど	● 壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ● 表面がザラザラした壁面や凹凸がある面（クロスなど）に取り付けるとリモコンが落ちる場合があります。
上側 ねじ ●ねじ2本で壁面に取り付ける	①壁面に下穴をあける（直径 5.8 mm 深さ 35 mm） ②樹脂プラグを差し込む ねじ	上側 両面テープ（ホルダー裏面）

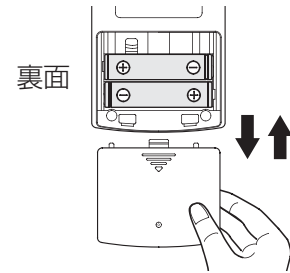
③リモコン裏面の溝を合わせて上から差し込む

④リモコンが取り外せることを確認する（電池交換が必要なため）

取付

ひとセンサーを取り付ける

■トイレのパターンに合った位置に取り付ける（トイレの扉と便器の位置関係により異なります）

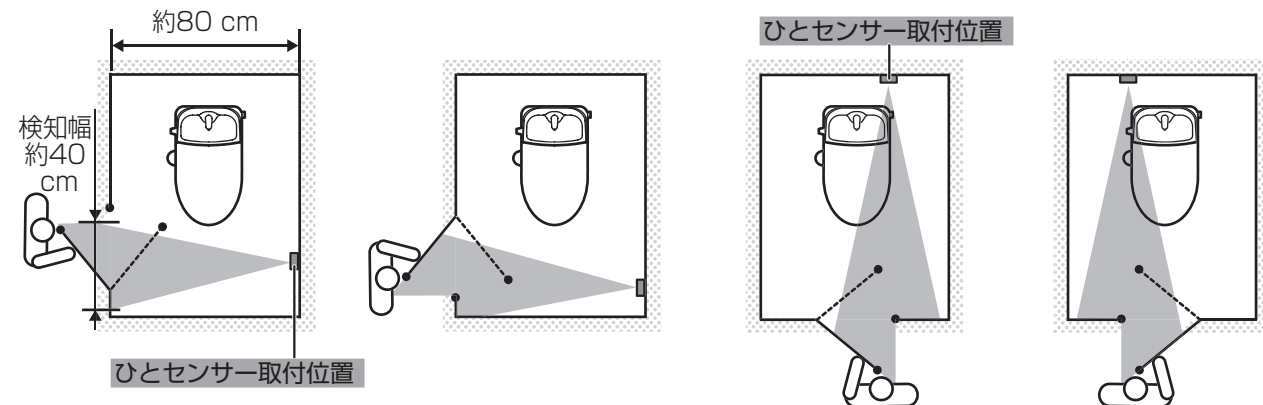
- ひとセンサーは人（発熱体）の動きを検知し、便座の瞬間暖房への通電（全機種）と便ふたの開閉（DL-WD60/50/40のみ）を自動で行います。

❶ ひとセンサーの電池ふたを開け、乾電池を入れる

❷ 取付位置を選ぶ（下図参照）

〈トイレのパターン別、取付位置例〉

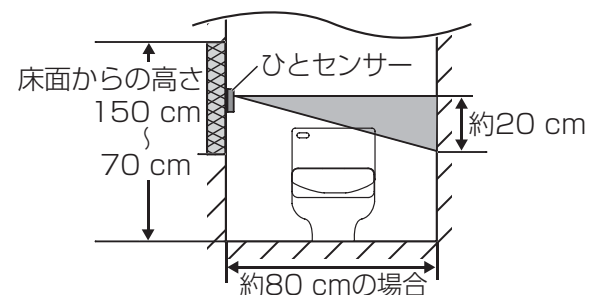
- ひとセンサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、人を確実に検知する位置に取り付けてください。ひとセンサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音が鳴ります。
- ひとセンサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
- **ひとセンサーを便座の方向に向けて取り付けると誤作動する場合があります。**

扉の対向面の壁に取り付けてください。（扉が引き戸の場合も同様）

- トイレの幅が約80 cmの場合、ひとセンサーの検知幅は約40 cmになります。

〈取り付け高さ〉（どのパターンでも共通です）

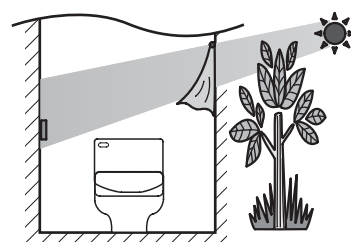
取り付けるのに適した範囲です。

ひとセンサーの検知範囲の目安です。

- ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。

ご注意　次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- 直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。

お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、便座の暖房を開始します。室温が30 ℃を超えたり直射日光が当たったりすると作動しない場合があります。（人と周囲の温度差が少ないときは、熱の変化を検知しにくいためです）

❸ ひとセンサーと本体の送受信確認をする（位置決め）

■DL-WD60/50/40の場合（便ふたの自動開閉機能付き）

①リモコンの自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する。
②便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る。
③3分以上経過後、トイレに入り、便ふたが開くと同時に、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。（ただし、便座の温度が約30 ℃以上の場合は点滅せずに点灯します）

■DL-WD20の場合（便ふたの自動開閉機能なし）

①一旦、トイレから外に出る。（便座の温度を下げるため）
②3分以上経過後、トイレに入り、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。（ただし、便座の温度が約30 ℃以上の場合は点滅せずに点灯します）

便座あたためランプ

お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、本体より「ピッ」と鳴ります。

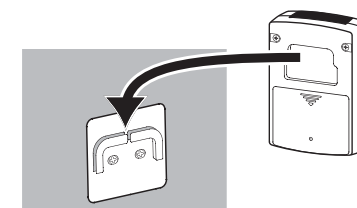
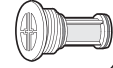
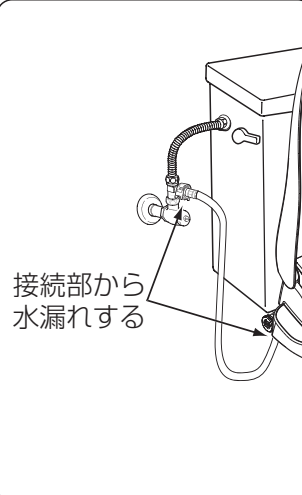
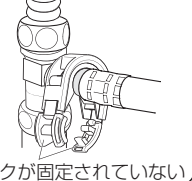
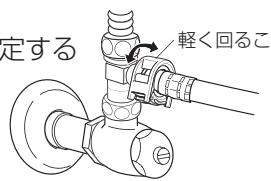
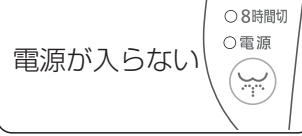
❹ ひとセンサーホルダーを壁面に取り付ける

①ひとセンサーからホルダーを外す
- ホルダー下を指で押さえながら下方向にずらして外す

②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材
●各種合板 ●ビニールクロスなど	●タイル ●石こうボード ●コンクリートなど
ねじ ●ねじ2本で壁面に取り付ける	①壁面に下穴をあける（直径 5.8 mm 深さ 35 mm） ②樹脂プラグを差し込む ねじ

ツルツルで固い平らな壁材（タイル）
●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面がザラザラした壁面や凹凸がある面（クロスなど）に取り付けるとひとセンサーが落ちる場合があります。 両面テープ（ホルダー裏面）

③ひとセンサー裏面の溝を合わせて上から差し込む

④ひとセンサーが取り外せることを確認する（電池交換が必要なため）

試運転

試運転の前に…　水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
（十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります）
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

手　順

❶ **本体梱包用のビニール袋などをはさむ**
（便座と便器の間）

❷ **電源プラグが差し込まれていることを確認する**

❸ **漏電テストスイッチを2秒以上押す**
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
（漏電ランプ点灯、電源ランプ消灯）

❹ **電源プラグを抜く**
- 4～5秒待って、漏電ランプが消灯することを確認する。

❺ **電源プラグを差す**
- 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に変わります。
- 便座あたためランプが点滅して点灯に変わります。（便座温度が約30 ℃以上の場合は、すぐに点灯します）
- 便座に手を当て、あたたまっていることを確認する。
- ECO NAVIランプが点灯します。
- 脱臭が始まります。

本体操作部
漏電ランプ（赤）
電源ランプ（緑）
便座あたためランプ
ECO NAVIランプ
❻❼ 着座センサー
❶❾ ビニール袋など
❷❹❺
❸

❻ **着座センサーを手で覆う**
- ノズル付近から圧力逃がし水が便器に流れ落ちます。

❼ **そのまま手で覆いながら、リモコンの [おしり] または [ビデ] を押しビニール袋の上から手をあて温水が出ることを確認する**
（温水が出ない場合は、リモコンの温水温度スイッチで設定温度を切り換えてください）
- 止めるときは [停止] を押す。
- 着座センサーから手を離すと、ノズルが戻りノズルを洗浄します。

〈手を覆わずに本体操作部の [テスト] を押した場合〉
ノズルがお手入れ状態になり水が下に流れます。
→この場合、リモコンの [停止] を押して、ノズルが収納されるのを確認してください。
その後、手順❺から試運転を行ってください。

❽ **取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄、エチケットポイントなど機能の確認をする**

❾ **ビニール袋を外す**

こんなときは

現象	考えられる原因	処置方法	参照ページ
ECO NAVIと8時間切ランプが同時に点滅する	● 止水栓が開になっていない ● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ	止水栓を開にし、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う	14 18
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルター（水抜き栓）がつまっている	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	14
	ロータンクに給水中	水が貯まるのを待つ	ー
ロータンクの水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	14
接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着	Oリングのゴミを取り除く	13
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	ー
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ	確実に固定する	13
電源が入らない	テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（本体の漏電ランプが点灯）	電源プラグを抜き漏電ランプが消灯してから電源プラグを差し込む	18
ひとセンサーが検知しない	● 人がいても体の動きがない ● 電池の入れ忘れ	● 体を動かしてください（センサーは熱の変化を検知する） ● 電池を入れる	16~17
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する		取扱説明書「保証とアフターサービス」の修理ご相談窓口にご連絡ください	

工事後の注意　凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）